整理番号	HT25042	分野	生物、生活　　（キーワード）閉鎖療法

千葉大学

傷を治す体の仕組みを免疫細胞から考えてみよう

先生（代表者）	野村　純（のむら　じゅん）　教育学部・教授				
自　己　紹　介	私の学生時代は免疫について、特にＢリンパ球が骨髄で作られるしくみについて研究をしていました。現在は、大学で傷が治るしくみや細胞が移動する分子メカニズムを調べています。趣味は、釣りと空手です！ラグビー部の顧問をしています。				
開催日時・主な募集対象	平成25年8月2日（金）	（対象）	中・高校生	（人数）	20名
集合場所・時間	千葉大学　教育学部4号館3階講義室	（集合時間）	9時30分		
開　催　会　場（集合場所）	千葉大学　教育学部（西千葉キャンパス）4号館、5号館 住所：〒263－8522　千葉市稲毛区弥生町1－33 アクセスマップ：http://www.chiba-u.ac.jp/access/nishichiba/ http://www.chiba-u.ac.jp/campus_map/nishichiba/				

内　　容

皆さんはけがをしたとき、このような経験をしませんでしたか？

傷口を水で洗い、消毒し、傷口が乾燥してかさぶたができるのを待つ。

実はこのように傷口を乾燥させるよりも、「早く」「きれいに」「痛くなく」傷を治す治療法があるのです！

それが「閉鎖療法」です。「閉鎖療法」とは何か、なぜ「閉鎖療法」だと傷の治りが早いのかを科学的に考えてみませんか？

このプログラムでは、講義を通して傷が治るまでの過程を学習します。次に実験を通して、実際に傷の治癒に重要な役割を持っている免疫細胞（白血球）を観察します。

見かけではわからない細胞レベルの事象を一緒に探っていきましょう！

スケジュール	持　ち　物
9:30～10:00　受付（西千葉キャンパス教育学部 4 号館 3 階講義室）	筆記用具
10:00～10:20　開講式（あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明）	ノート、ルーズリーフ
10:20～10:35　アイスブレーキング	飲み物
（受講生間でのアートコミュニケーションによる自己紹介）	
10:35～11:15　講義（免疫細胞と創傷治癒）　※終了後 10 分休憩	特 記 事 項
11:25～12:15　血液スメアー標本作成および観察	
12:15～13:25　昼食及び交流会（教員、大学院生、卒研生との交流）	
13:25～13:55　P1、P2 実験施設見学（移動時間含む）	
13:55～14:25　講義（創傷治癒過程について）	
※終了後 10 分休憩（クッキータイム）	
14:35～16:15　実習（2）Ficol による白血球細胞分離と観察	
16:15～16:45　修了式（アンケート記入、未来の博士号授与）	
16:45　　終了・解散予定	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	教育学部・野村　純（のむら　じゅん）
住　　所：	〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学教育学部内「サイエンススタジオ CHIBA」支援室
TEL 番号：	043-290-2584
FAX 番号：	043-290-2584
E-mail：	mirai-kagaku@office.chiba-u.jp
申込締切日：	**平成 25 年 7 月 19 日（金）**

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
野村　純	H24-26	挑戦的萌芽研究	24650441	運動刺激負荷下でのハーブ創傷治癒活性検出法の新規開発

★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

http://kaken.nii.ac.jp/

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。